

CUPRE

News Letter

特集1
都市政策研究センターシンポジウム
AI・IoTがもたらす都市の変革

特集2
都市政策研究センター連続セミナー
SDGs時代の都市政策を考える

No. **2**
2020



都市政策研究センター、2年目の挑戦

都市政策研究センターシンポジウム

AI・IoTがもたらす都市の変革

7月11日に、桜山キャンパス内でシンポジウムを開催しました。MONET Technologies 株式会社の小澤拓郎さんの基調講演ののち、企業・行政・大学の関係者が登壇してパネルディスカッションを行ない、AI・IoTがもたらす都市の変革について議論を深めました。



基調講演

講演者: MONET Technologies 株式会社 事業推進部 担当部長 小澤 拓郎

小澤さんは講演のなかで、「自動車業界は今、100年に一度の大変革時代に来ている」と指摘し、現在注目が集まる自動運転の最新動向について、さまざまな角度から解説しました。また、ご自身が手掛けるプロジェクトのひとつとして、伊那市(長野県)における移動診察車の実証実験にも言及。今後ますます進化を遂げる自動運転は、私たちの暮らしが抱えるさまざまな困難を、根本的に解決していく可能性を有しているとの見通しを示しました。

テーマ「Mobility Innovation」



パネルディスカッション

テーマ「AIによる社会変革と産官学のこれから」

パネリスト

- 小澤 拓郎 MONET Technologies 株式会社
事業推進部 担当部長
- 安江 輝 伊那市 企画部 企画政策課
新産業技術推進係 係長
- 河田 誠一 名古屋市 総務局 企画調整監
- 安川 力 名古屋市立大学 大学院医学研究科 准教授

後半のパネルディスカッションでは、企業・行政・大学の関係者4名がパネリストとして登壇しました。各パネリストからは、行政現場でのAI化への対応、医療現場でのAI活用の実践、企業側からの行政や大学への期待などに関する報告がありました。都市のいたるところにAIが浸透していく動向に対し、市民一人ひとりが今後どのような姿勢で臨むべきかにも議論が及びました。

コーディネーター

伊藤 恭彦 名古屋市立大学 副学長



SDGs時代の 都市政策を考える

12月から2月にかけて、ミッドタウン名駅サテライトにて、毎月1回のペースで、名古屋市をはじめとする市町村職員を対象に連続セミナーを開催しました。今年度はSDGsをテーマに据え、参加者との活発な意見交換も行なわれました。

第1回

人間文化

SDGsとは



曾我幸代 大学院人間文化研究科 准教授

近年、いろいろなところで見聞きするようになったSDGsについて、第1回は大枠を把握する位置づけで、SDGsそのものの理解をめざしました。講演のなかでは、SDGsの考え方が注目されるようになった背景、現在までのさまざまな取り組みの推移、バックカスティングという視点への注目、など幅広くSDGsのポイントに触れました。講演終了後には、参加者との活発な意見交換も行なわれ、会場全体でSDGsへの理解を深める契機となりました。



第2回

経済学

SDGsと気候変動



内田真輔 大学院経済学研究科 准教授

第2回はSDGsの各論を学ぶ位置づけで、17目標のひとつである気候変動の問題を取り上げました。周知のとおり、気候変動は私たちの暮らしに影響を与え、たとえば熱中症の患者数の増加があります。また講演では、温室効果ガスの削減に関心が向かう一方、自然や人間社会のあり方を調整する「適応」の視点がある点にも言及。その際、「適応弱者」を包摂し、「だれ一人取り残さない」社会をいかに構築していくかが問われる、との指摘がありました。



第3回

人間文化

SDGsと多文化共生



山本明代 大学院人間文化研究科 教授

第3回もSDGsの各論を学ぶ位置づけで、17目標と関わりの深い多文化共生をテーマに取り上げました。全国的に見て、愛知県は外国籍住民の数が多く、愛知県も名古屋市もこれまで多文化共生に力を入れてきた経緯があります。講演では、多文化共生の概念やSDGsの17目標との関連について学びました。その後、参加者同士で「何が課題なのか」「どのように解決できるか」「自分は何ができるか」を話し合い、活発な意見交換が続きました。



温知学要

都市政策研究センターでは2019年度より、学生の社会貢献活動・地域貢献活動をサポートする目的で、名市大未来まちづくり活動支援事業「温知学要」(おんちがくよう)をスタートさせました。採択された3団体は、それぞれ中間報告会(11月)と名市大リンクトポス(12月)の場で活動成果を発表し、教職員からの助言を受けました。



映像によるまちづくり
(芸術工学部の学生)



中水野の今を未来へ
届ける家具の製作
(芸術工学研究科の学生)



パロルワーク
ショップの開催
(人文社会学部の学生)

2019年度の活動実績

○都市政策研究センターシンポジウム

2019年7月11日13:00～

@名古屋市立大学桜山キャンパス

○都市政策研究センター連続セミナー第1回

2019年12月16日18:30～

@名古屋市立大学ミッドタウン名駅サテライト

○都市政策研究センター連続セミナー第2回

2020年1月17日18:30～

@名古屋市立大学ミッドタウン名駅サテライト

○都市政策研究センター連続セミナー第3回

2020年2月18日18:30～

@名古屋市立大学ミッドタウン名駅サテライト

○受託実績(一部抜粋)

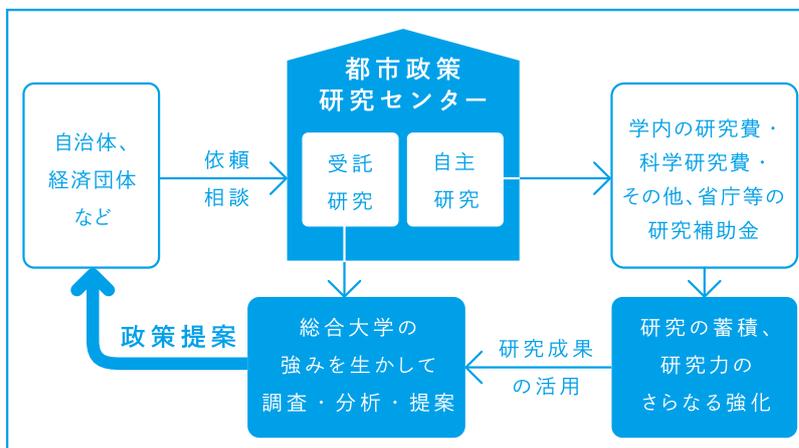
- ・名古屋市総務局企画部統計課
- ・名古屋市市民経済局市民生活部消費流通課
- ・名古屋市子ども青少年局子ども未来企画部子ども未来企画室
- ・名古屋市選挙管理委員会事務局
- ・名古屋市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課
- ・名古屋市上下水道局技術本部計画部水道計画課
- ・G20愛知・名古屋外務大臣会合推進協議会
- ・一宮市まちづくり部都市計画課
- ・尾張旭市総合推進室
- ・ヤマト運輸株式会社 愛知法人営業支店

名古屋市立大学 都市政策研究センター(CUPRE)

センターの紹介

当センターは全学的な共同研究体制のもと、名古屋大都市圏が抱える地域課題に対して、解決に寄与する調査・分析・提案を進めます。

「CUPRE」というのは、Center for Urban Policy Research and Educationの頭文字を並べたものです。



ロゴマークは、NCUとCUPREを組み合わせたデザインです。CUPREと読めるようにNを右側にし、NCUを一筆書きでまとめました。「N」は都市をイメージさせる、ビルをモチーフにしました。

お気軽にご相談ください

当センターのスタッフとして参加する教員は、講演会や研修会の豊富な講師経験があります。

また、学生を交えたまちづくりワークショップなども対応が可能です。

お問い合わせ

当センター事務局までお問い合わせください。

e-mail : cupre@sec.nagoya-cu.ac.jp

tel : 052-872-3527

公式ホームページに
アクセス!



表紙のキーワード

「SDGs」とは?

昨今、いろいろなところで登場するSDGs。みなさんもSDGsのカラフルなロゴマークをどこかで見たことがあるのではないのでしょうか。SDGsとは「持続可能な開発目標」に相当し、17の目標と169のターゲットから構成されます。国の第二期地方創生でもSDGsに注目が集まり、最近では総合計画にSDGsの視点・発想を取り入れている自治体も増えています。なお、当センターではSDGsワークショップも担当可能ですので、お気軽にご相談ください。

